

国・地方が力合わせて住民要求実現を

和歌山県・市議団、近畿ブロック事務所が勉強会

17項目で 意見交換

「安倍政治の『地方壊し』と対決し、国会・地方議員団が力を合わせて住民要求実現を」「連続選挙勝利こそ要求実現の力」と、和歌山県・市議団と近畿ブ



ロック事務所との勉強会が2日、和歌山市の北部地区委員会事務所で行われました。奥村規子県議、松坂美知子県議予定候補（市議）、森下佐知子市議（団長）ら各市議と予定候補、前ひさし参院選挙区予定候補、清水忠史前衆院議員、近畿ブロック事務所員、山下よしき参院議員秘書らが参加。和歌山側から事前に示された▽環境保全対策▽防災対策▽上水道事業▽カジノ誘致▽公共交通▽社会保障についての17項目の要望で意見交換しました。

具体的テーマで、まとまった意見交換するのは初めて。清水前衆院議員は、近畿における要求実現活動の経験を紹介、政府・出先交渉は▽国会議員と連携し要求を実現する機会になる▽党議席の値打ちが上がる▽国政と地方政治を結び付けて語る力がつく▽国の制度や仕組み、対策の現状をつかみ要求実現の力になる一などの「効能」があることを強調。政府交渉で要求を直接国にぶつけようとのべました。

勉強会は、取り上げた項目について要求の具体的内容と状況が説明され、ブロック事務所が国の対策の到達点を紹介する形で進め、活発な討論が行われました。

近畿ブロック事務所からは、「3中総後、選挙戦の日常化と要求実現活動が進んでいる。国政が遠くなっている状況を双方が克服するため引き続き努力しよう」、県委員会からは、「住民が声を上げ、党はそれをつかんで励まし、要求実現に執着しよう」と訴え、要求実現活動のいっそうの前進を確認しました。

9日の近畿いっせい宣伝 日本共産党の風を大きく吹かせよう

9日（金）は近畿いっせい宣伝です。5中総決定は連続選挙勝利への取り組みへのギアチェンジを呼びかけました。近畿いっせい宣伝は「比例を軸に」「近畿はひとつ」で党の風を大きく吹かせ、党支持を広げる取り組みです。統一地方選、参院選を前にこの位置づけを明確にして大きく成功させましょう。

沖縄知事選勝利を受けた先月のいっせい宣伝は、521カ所で20%の党支部、2204人が参加し、3万枚以上を配布。多くの人から「ありがとう」「ご苦労様」の声が寄せられ、情勢の大きな変化を感じさせました。

今年の近畿いっせい宣伝の取り組みは、600カ所、参加支部20%前後、2000人ほどの参加になっています。この規模を大きく上回る取り組みにしましょう。地方議員の皆さんがその先頭に立っていただくようお願いします。

宣伝では「近畿民報」を活用してください。消費税10%ストップ、9条改憲阻止を呼び掛けた宣伝物になっています。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 41(2018.11.5)